

2. 地区整備の考え方

■ 地区整備の考え方

地区の整備は、「整備構想」で示した街づくりの目標に向けて、**段階的かつ計画的に取り組んでいくこと**とします。

そのため、この計画は、「整備基本方針」で示したアクションプランについて、具体的な事業内容等を整理しています。

* プランの柱

1. 駅・交流広場等の一体的整備

2. 駅周辺自転車対策

3. 安全・安心・快適な歩行ネットワークの形成

4. 碑文谷公園の魅力化

5. 小学校や住区センター、旧六中跡地の福祉機能等の向上

6. 将来の補助 26 号線の整備を契機とした街づくり

7. 商店街の景観形成

8. 住民が主体となって進めるまちづくり

■ 地区整備の進め方

東急東横線の耐震化工事などや各種公共事業と連携し、地元住民、事業者、関係機関、目黒区等が連携・協力を図りながら進めることを基本とし、事業内容、事業者、及びスケジュールなどを定め、整備を進めます。

“高齢者や障害者等、誰もが安全に移動等ができる交通バリアフリーネットワークの形成”に関する事業については、「学芸大学駅周辺地区交通バリアフリー整備計画」と連携して整備を進めていきます。